

**研究課題名：がん治療施設における妊孕性温存がん治療
がん・生殖医療連携に関する実態調査**

1. 研究の対象

2009年1月～2013年12月の間に手術が行われたAYA世代（15～39歳）の子宮頸がん患者における卵巣移動術を施行された患者さんを対象とします。

2. 研究目的・方法

本研究は、思春期および若年成人世代であるAYA世代に着目し、がん治療施設のAYA世代がん患者における妊孕性温存がん治療、がん・生殖医療連携に関する実態調査を具体的に行い、我が国における妊孕性温存がん治療、がん・生殖医療連携の実態を明らかにすることを目的とします。

3. 研究に用いる試料・情報の種類

情報：手術時年齢、手術前結婚歴、手術前妊娠既往、手術前挙児希望の有無、手術前SCC値・CEA値・CA125値・神経特異エノラーゼ値、手術前の卵巣予備能検査施行の有無、初回手術実施日、手術方法、術後進行期、病理組織分類、卵巣位置移動場所、術後放射線療法の有無、術後放射線線量、術後化学療法の有無、化学療法レジメン、治療後卵巣予備能、卵巣位置移動術後の卵巣腫大の有無、卵巣位置移動術後の手術の有無、卵巣位置移動術後の術式と組織型、再発の有無、再発日、再発治療、再発時の妊孕性温存治療の有無、最終生存確認日、最終生存確認時の転機

4. 外部への試料・情報の提供

聖マリアンナ医科大学へデータ提供を行います。データの提供は、特定の関係者以外がアクセスできない状態で行います。対応表は、当センターの研究責任者が保管・管理します。

5. 研究組織

聖マリアンナ医科大学ほか都道府県がん診療連携拠点病院（49施設）、地域がん診療連携拠点病院（378施設）および日本承認血液・がん学会（107施設）、日本産科婦人科学会専攻医指導施設（690施設）

6. お問い合わせ先

本研究に関するご質問等がありましたら下記の連絡先までお問い合わせ下さい。
ご希望があれば、他の研究対象者の個人情報及び知的財産の保護に支障がない範囲内で、
研究計画書及び関連資料を閲覧することが出来ますのでお申出下さい。

また、試料・情報が当該研究に用いられることについて患者さんもしくは患者さんの代理人の方にご了承いただけない場合には研究対象としませんので、下記の連絡先までお申出
ください。その場合でも患者さんに不利益が生じることはありません。

照会先および研究への利用を拒否する場合の連絡先：

宮城県立がんセンター治験・臨床研究管理室 倫理審査委員会担当 村尾 知彦
〒981 - 1293 宮城県名取市愛島塩手字野田山 47 の 1
TEL 022-384-3151（代表）（内線 973）

研究責任者：

宮城県立がんセンター 婦人科 医療部長 大友圭子

研究代表者：

聖マリアンナ医科大学 産婦人科 鈴木直